

Environmental Report 2026



会社情報

会社情報

(2026年3月31日現在)

社名 株式会社ニューフレアテクノロジー(略称: (NFT))

本社所在地 神奈川県横浜市磯子区新杉田町8番1

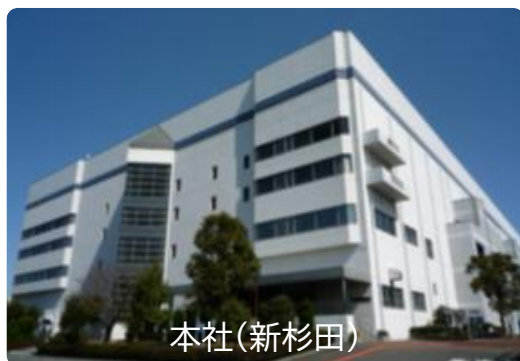
設立 2002年8月1日

従業員数 1,144名

<主要製品>

● マスク描画装置 ● マスク検査装置 ● エピタキシャル成長装置

ISO14001認証取得:1996年2月、最新更新年月:2025年8月
(ISO認証番号:EC98J2014/東芝デバイス&ストレージ株式会社
統合認証)



本社(新杉田)



本社(みなとみらい)

ごあいさつ

株式会社ニューフレアテクノロジーは、最先端の半導体製造装置の開発・提供を通じて、半導体産業の発展に貢献してまいりました。

半導体が社会の重要な基盤となる中、当社は培ってきた技術力をさらに進化させ、お客様の多様なニーズに迅速にお応えしてまいります。

今後も、半導体産業と社会の持続的な発展に貢献してまいります。



齊藤 匡人
代表取締役社長
環境保全責任者

2025年度の環境活動の主な取り組み

▶ 環境配慮型製品の創出・社会への提供

製品含有化学物質管理の推進

▶ 地球温暖化防止の推進

クリーンルーム空調適正化等による消費電力(CO2排出量)量削減

達成率 **298%** (実績/目標:126.9t-CO2/42.5t-CO2)

▶ 資源の有効利用促進

廃棄物排出量の抑制

達成率 **103%** (実績/目標:473t/年/≤489t/年)

▶ 環境リスクの低減

異常・緊急事態対応訓練実施によるリスク低減

▶ 社会貢献活動および環境コミュニケーションの推進

社会貢献活動の活性化(社外ボランティア活動への参加)

ボランティア活動への参加、環境情報の発信(HP情報)等

▶ 環境意識の向上

環境関連月間行事に合わせた社内啓蒙実施、環境教育受講100%

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

NFTでは製品アセスメント結果等を元に新製品の環境負荷の低減を積極的に進めています。

主力製品のEBM(電子ビームマスク描画装置)では、マスク描画時の消費電力※を世代ごとに順次削減しています。

従来に比べて環境負荷を低減した製品の企画・開発を進めることで、お客様の製造段階での環境負荷低減にも寄与してまいります。

※同一条件のマスクを描画する際に消費する電力

所要電力比(EBM-7000比較)

(※同一マスク描画時の比較)



EBM8000



EBM9000



EBM9500

環境方針

株式会社 ニューフレアテクノロジー 環境方針

－ 理 念 －

東芝グループの経営理念である「人と、地球の、明日のために。」に基づき、脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境経営により、持続可能な社会の実現に貢献し、新しい未来を始動させます。

－ 方 針 －

株式会社ニューフレアテクノロジーは、環境への取組みを企業経営の最重要課題の一つと位置づけ、全ての事業プロセスにおいて、ライフサイクルの視点に立って環境に配慮した企業活動を実践します。そして、効率に優れる半導体製造装置の提供とそれによって製造された半導体製品の省エネ・省資源により社会に貢献することを目指します。

1. 倫理観と継続性

- 1) 法令、当社が同意した業界などの指針および自主基準など当社の環境側面に適用可能な法的及びその他の要求事項を遵守します。
- 2) 環境活動レベル及び環境パフォーマンスの向上を図るため、監査の実施や活動のレビューにより環境マネジメントシステムの継続的な改善を行い、環境経営の効果的な運用を推進します。

2. 実行

全ての事業プロセスにおける環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、気候変動並びに、循環経済への対応、生態系への配慮などに関する環境目標を設定して、積極的な環境施策を展開するとともに、社会の環境負荷低減に貢献する製品を創出・提供していきます。

- 1) 気候変動への対応のため、カーボンニュートラル実現への取り組みを行います。
- 2) 循環経済への対応のため、投入する資源の最小化と3Rを推進し、資源の有効活用への取り組みを行います。
- 3) 生態系への配慮のため、使用する化学物質の適正な管理と生物多様性の保全に取り組みます。
- 4) 環境に関する情報発信、地域・社会との相互理解への取り組みを行うとともに、全従業員の環境意識向上への取り組みを行います。

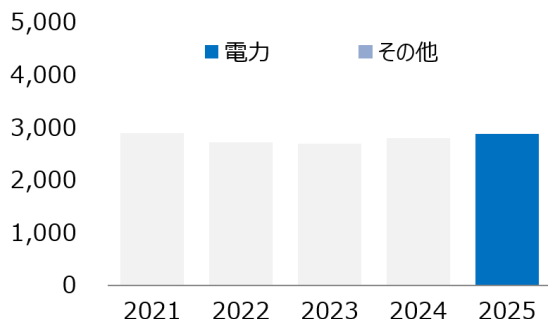
この環境方針は、社内外に開示するとともに本組織で働くすべての人々に方針を周知し、方針に沿った企業活動を推進します。

2026年4月1日
株式会社ニューフレアテクノロジー
代表取締役社長 齊藤 匡人
環境保全責任者

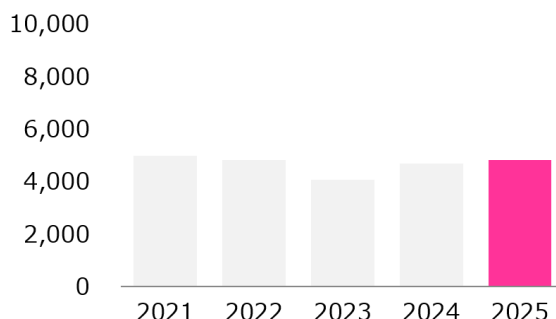
環境負荷データ



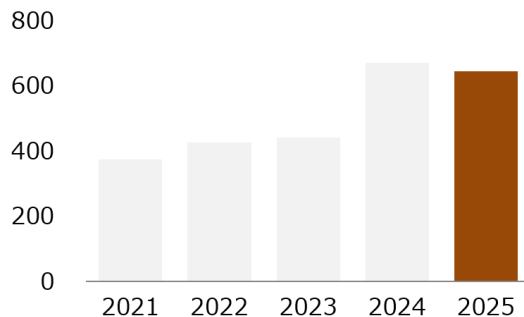
● エネルギー使用量(単位:kL)



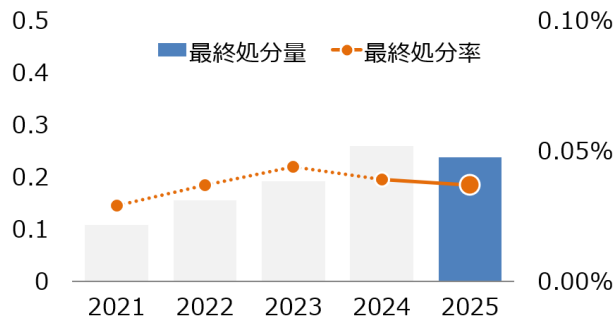
● CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



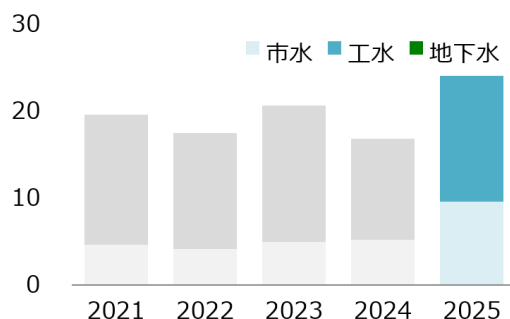
● 廃棄物総発生量(単位:トン)



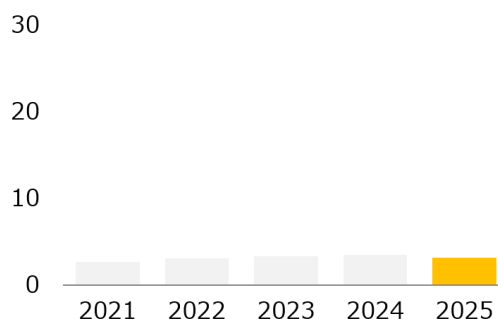
● 廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)



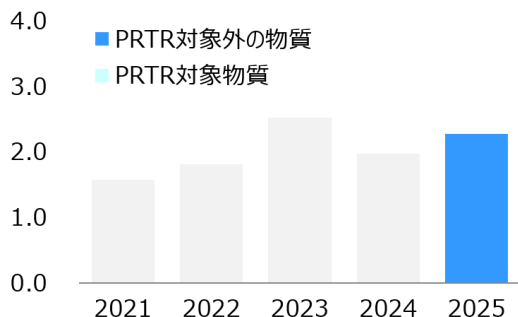
● 水の使用量(単位:千m³)



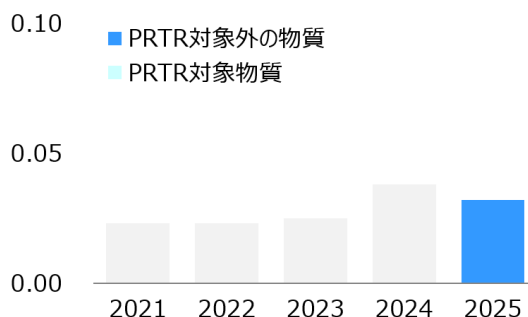
● 排水量(単位:千m³)



● 化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



● 化学物質削減対象物質の排出量(トン)



環境コミュニケーションの紹介

社会貢献活動

行政等が主催する社会貢献・環境保全関連行事へ参加・協賛しています。



こども「エコ活。」大作戦!

横浜市が主催する児童を対象とした環境活動を支援しました。
この活動を通じて国連の食料支援機関「国連WFP」が行っているフィリピン・ミンダナオ島での植樹活動に協賛をしました。

障がい者支援

一般就労を目指す障がい者の就労支援を行なう団体に事業所周辺の清掃業務を委託し、団体の活動を支援しています。

環境保全活動団体への参加

- ・富士山ネットワーク
 - ・かながわ海岸美化財団 他
- 環境保全活動を企画・実施する各種団体に参加しています。

事業所周辺清掃ボランティアおよび東芝グループ環境活動

東芝グループが実施する環境保全活動に積極的に参加しています。

- 6月：環境月間
 - 10月：サーキュラーエコノミー推進月間
 - 2月：省エネルギー月間
- 各月間に合わせ、東芝横浜事業所周辺の清掃活動他を実施しています。



横浜事業所周辺清掃ボランティア

生物多様性の保全への取り組み

自然保護活動

絶滅危惧種に上げられている動植物種の保護・保全に協力しています。



クゲヌマランの保全

敷地内に自生しているクゲヌマランを保全しています。
『クゲヌマランを守る事＝生物多様性の保全』と言う事だけではなく、自生している環境が貴重であることを認識し、見守ってまいります。

環境省レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類